



鳥取県内の経済情勢

令和6年2月1日

財務省中国財務局
鳥取財務事務所


お問い合わせ先

鳥取財務事務所 財務課長 澤田

電話 0857-26-2295

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直しのテンポが緩やかになっている」

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	




（注）6年1月判断は、前回5年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、弱含んでいる。

【各項目の判断】

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
----	-------------	------------	------

個人消費	持ち直している	持ち直している	
生産活動	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	足踏みの状況にある	
雇用情勢	横ばいの状況にある	弱含んでいる	

設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は増益見込み	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
公共事業	前年度を上回る	前年度を上回る	

【先行き】

先行きについては、所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、海外情勢の動向や物価上昇、雇用情勢等、景気の下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店販売は、催事による来店客数が増加していることなどから、前年を上回っている。

スーパー販売は、精肉などが低調であることから、前年を下回っている。

コンビニエンスストア販売は、飲料などが好調であることから、前年を上回っている。

ドラッグストア販売は、医薬品などが好調であることから、前年を上回っている。

ホームセンター販売は、冬物寝具などが低調であることから、前年を下回っている。

家電大型専門店販売は、テレビなどが低調であることから、前年を下回っている。

乗用車販売(新車登録・届出台数)は、依然として納期に遅れが見られるものの、半導体不足の影響が徐々に弱まっており、前年を上回っている。

主要観光地の入込客数は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による観光需要の高まりが続いているほか、インバウンドの増加も見られており、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 新型コロナウイルス感染症の5類移行後、催事を積極的に行っている。毎年恒例のイベントも昨年より客足が多く、宝飾・美術のほか、食料品などが好調であった。(百貨店)
- 精肉は、節約志向の高まりから、牛肉、豚肉より安価な鶏肉へ需要がシフトしている。(スーパー)
- 暖かい日が多かったため、週末を中心に外出する人が増えたことから来店客数は増加し、ソフトドリンクやアイスクリーム、チルド飲料が好調。(コンビニエンスストア)
- 新型コロナウイルス感染症の5類移行による外出増加や、感染対策意識の弱まりから、インフルエンザなどが流行しており、医薬品の売上げが増加している。(ドラッグストア)
- 気温の高い日が多かったことから、冬物寝具や暖房器具の売行きが悪かった。(ホームセンター)
- テレビは、地デジ放送完全移行時の購入者による買替えが見られ始めたが、販売単価は年々低下しているため、売上げは伸びていない。(家電大型専門店)
- 連休や年末年始は満室となるなど、リベンジ消費の機運は引き続き高まっている。インバウンドも、米子ソウル国際定期便の運行再開に伴い、順調に増加している。(宿泊)

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

食料品は、観光需要が堅調であるものの、人手不足の影響などにより、減少している。

電子部品・デバイスは、海外需要の低下により、減少している。

電気・情報通信機械は、海外需要が低下しているほか、半導体不足の影響が続いており、減少している。

パルプ・紙は、国内需要の低下により減少しているものの、足下では持ち直しの動きもみられる。

汎用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置の需要が戻らないことなどから、減少している。

- 土産用菓子の需要は高水準で推移しているものの、製造部門の人手不足により必要量を生産できていない。(食料品)
- 中国のEV市況が低迷しているなど、海外向けの動きが弱い。(電子部品・デバイス)
- 中国景気の下振れが続いており、海外向け家電の受注が減少している。また、依然として半導体不足の影響が続いており、一部製品の受注に対応できていない。(電気・情報通信機械)
- 国内向けの需要が激しく、在庫過多となったことから一時的に生産調整を行ったが、現在はフル操業で生産している。(パルプ・紙)
- シリコンサイクルの谷からなかなか抜け出せず、半導体製造装置の受注が戻らない。(汎用・生産用・業務用機械)

■ 雇用情勢 「弱含んでいる」

人手不足の声が聞かれるものの、新規求人数は減少しているほか、有効求人倍率も低下していることから、雇用情勢は弱含んでいる。

- 人員が減少しており残業が増加しているものの、人件費を増やせる経営状態になく大規模な募集ができない。(電気機械)
- 製造ラインの増強に伴い、数年かけて100名規模の採用を計画しているが、足下では受注の伸びが悪く採用計画に対しては過剰感がある。(情報通信機械)
- 販売職が敬遠されているためか、新卒採用、中途採用共に応募状況は悪い。応募を集めるために大規模な賃上げをすることは、既存従業員とのバランスもあり困難。(小売)
- 製造業において減産基調にあることなどから、求人数の減少傾向が続いている。経営難による数名規模の解雇などが複数見られており、求職者数は増加している。(職業紹介)

■ 設備投資 「5年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10-12月期

- 製造業では、木材・木製品などで減少するものの、パルプ・紙、食料品などで増加することから、全体としては増加見込みとなっている。
- 非製造業では、農林水産などで減少するものの、金融・保険、情報通信などで増加することから、全体としては増加見込みとなっている。

- 光熱費高騰への対策として太陽光パネルを導入。(食料品)
- 受注増加への対応のため、DX化に係る設備・ソフト投資を実施。(情報通信)

■ 企業収益 「5年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10-12月期

- 製造業では、金属製品などで減益となるものの、パルプ・紙、電気機械などで増益となることから、全体としては増益見込みとなっている。
- 非製造業では、農林水産などで増益となるものの、情報通信、建設などで減益となることから、全体としては減益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、持家、貸家、分譲住宅が減少していることから、前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年度を上回る」

- 前払金保証請負金額(年度累計)で見ると、前年度を上回っている。

鳥取県内の経済情勢

[資料編]

	(ページ)
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	5
6. 住宅建設	6
7. 公共事業	6

令和6年2月1日

財務省中国財務局
鳥取財務事務所

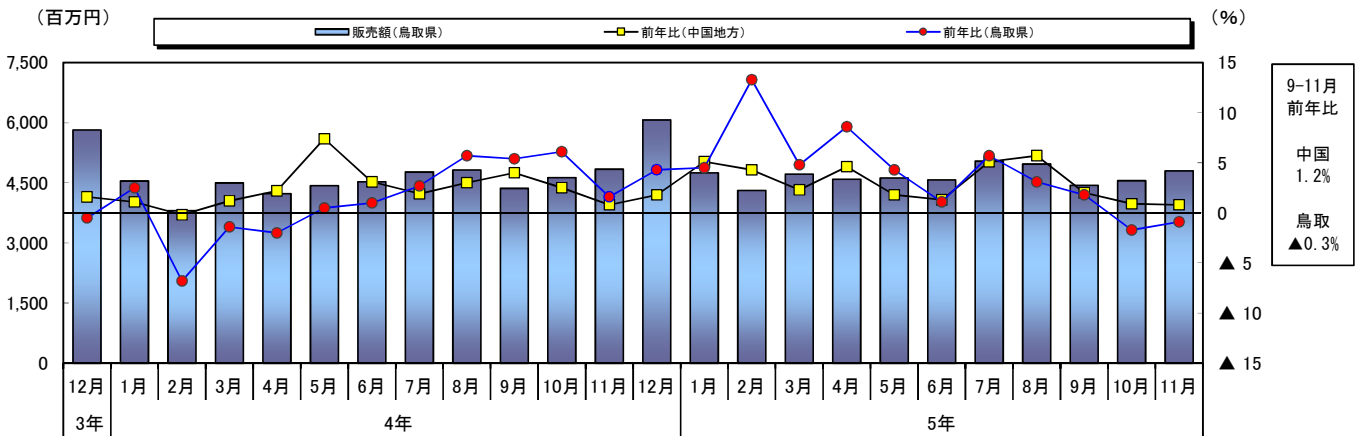
お問い合わせ先

鳥取財務事務所 財務課長 澤田

電話 0857-26-2295

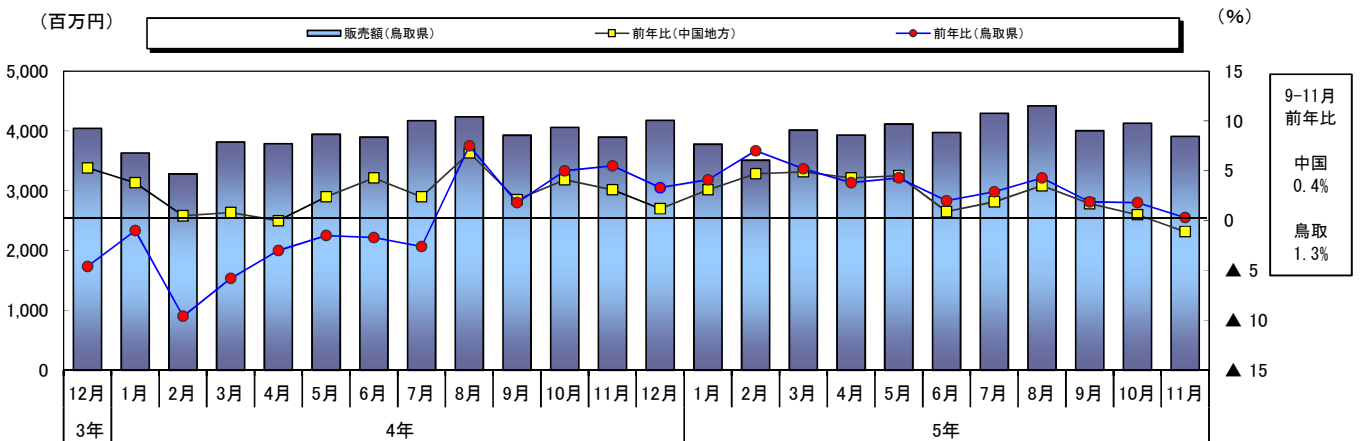
1. 個人消費 持ち直している

(1) 百貨店・スーパー販売(全店舗)



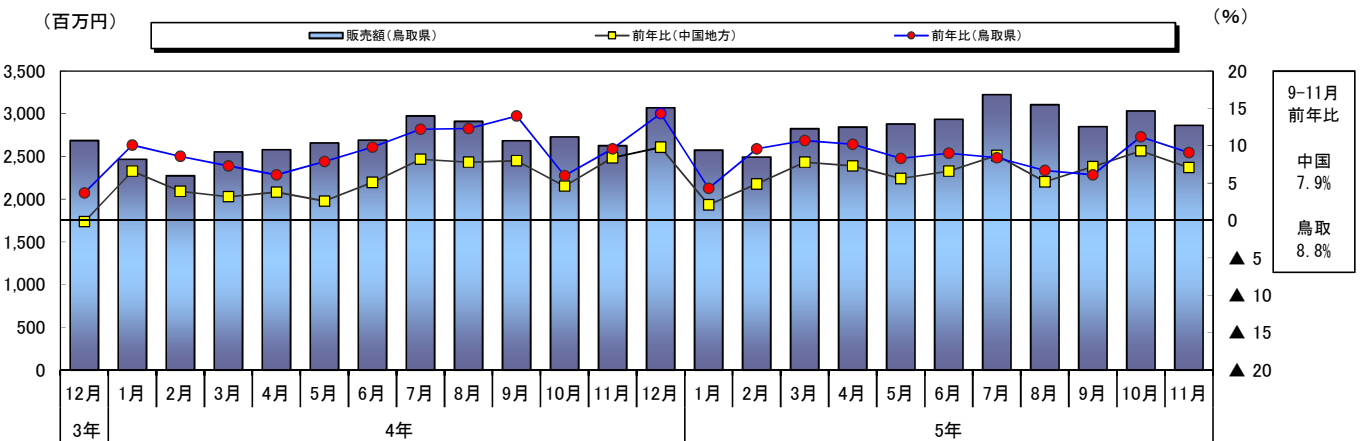
(資料出所: 経済産業省/中国経済産業局)

(2) コンビニエンスストア販売(全店舗)



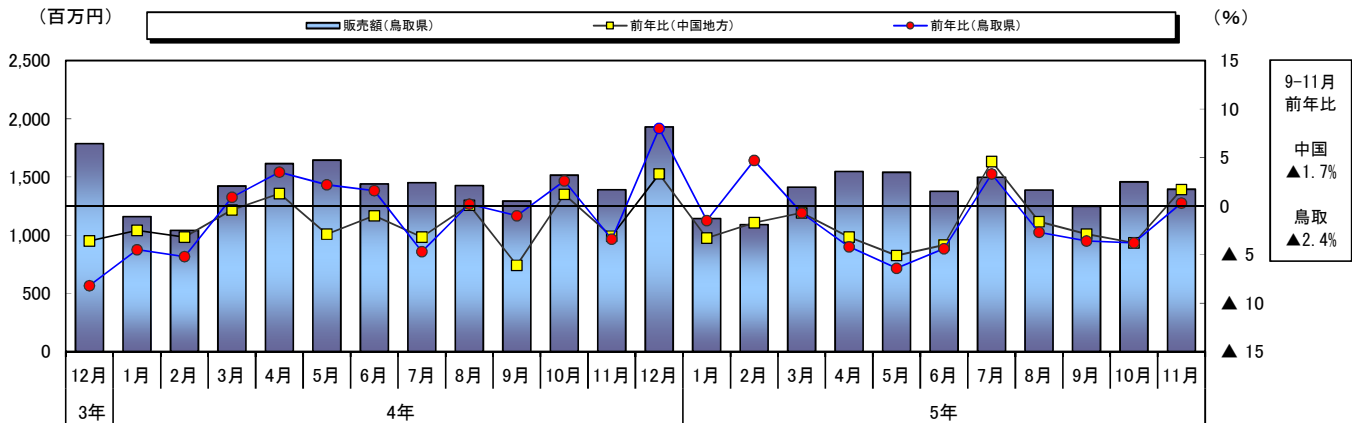
(資料出所: 経済産業省/中国経済産業局)

(3) ドラッグストア販売(全店舗)



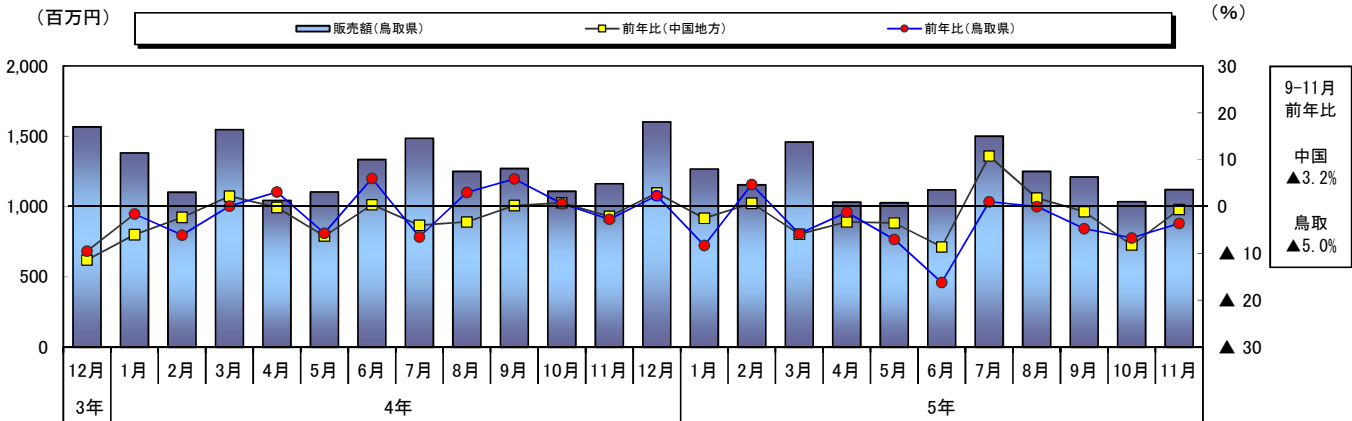
(資料出所: 経済産業省/中国経済産業局)

(4) ホームセンター販売(全店舗)



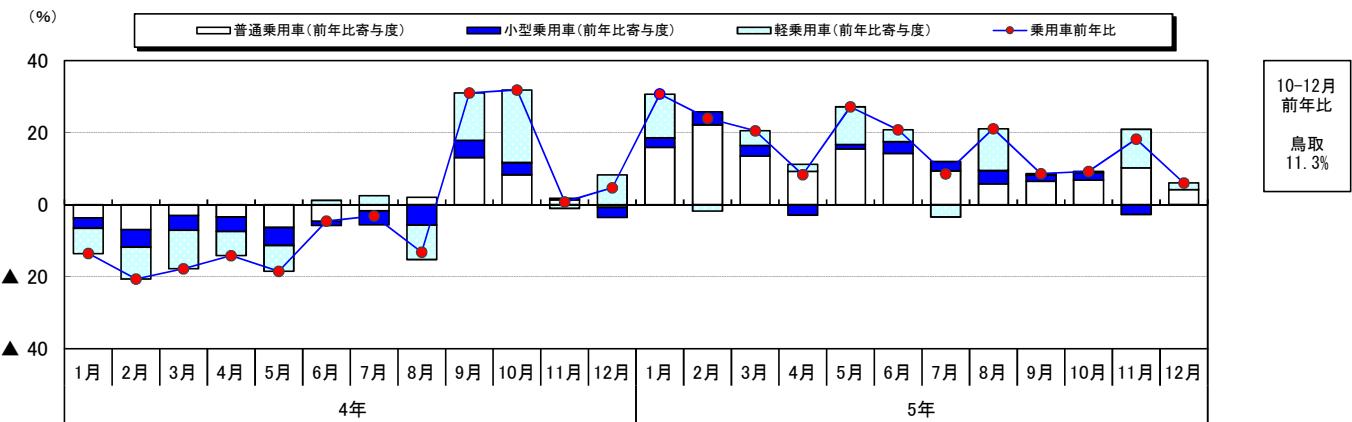
(資料出所: 経済産業省/中国経済産業局)

(5) 家電大型専門店販売(全店舗)



(資料出所: 経済産業省/中国経済産業局)

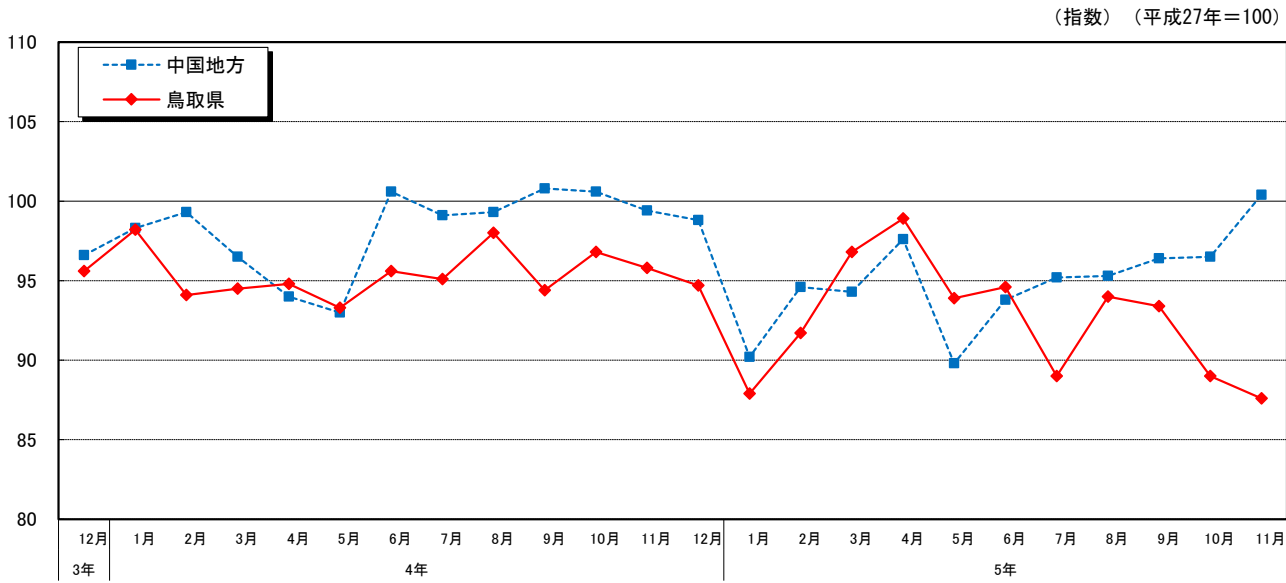
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



(資料出所: 中国運輸局)

2. 生産活動 足踏みの状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

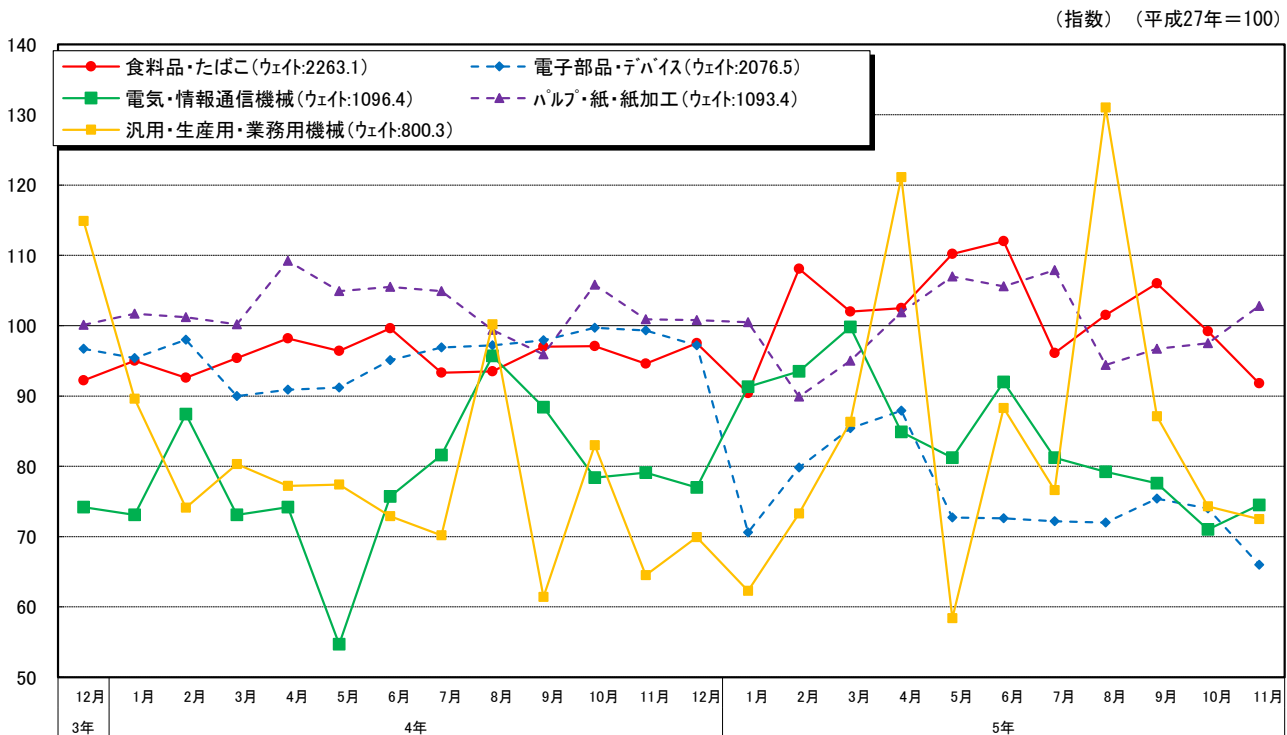


9-11月
中国
97.8

鳥取
90.0

(資料出所: 中国経済産業局、鳥取県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)



9-11月
食料品・
たばこ
99.0

電子部品・
デバイス
71.8

電気・情報
通信機械
74.4

パルプ・紙・
紙加工
99.0

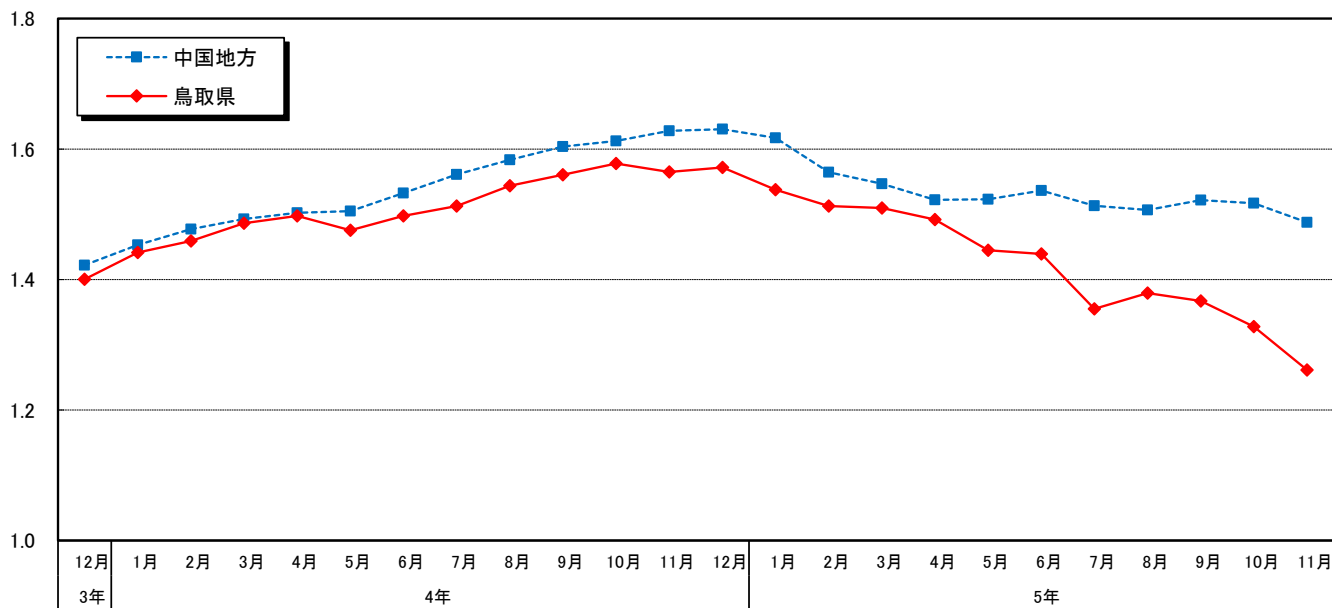
汎用・生産用
・業務用機械
78.0

(資料出所: 鳥取県)

3. 雇用情勢 弱含んでいる

(1) 有効求人倍率(学卒を除く、季節調整値)

(倍)

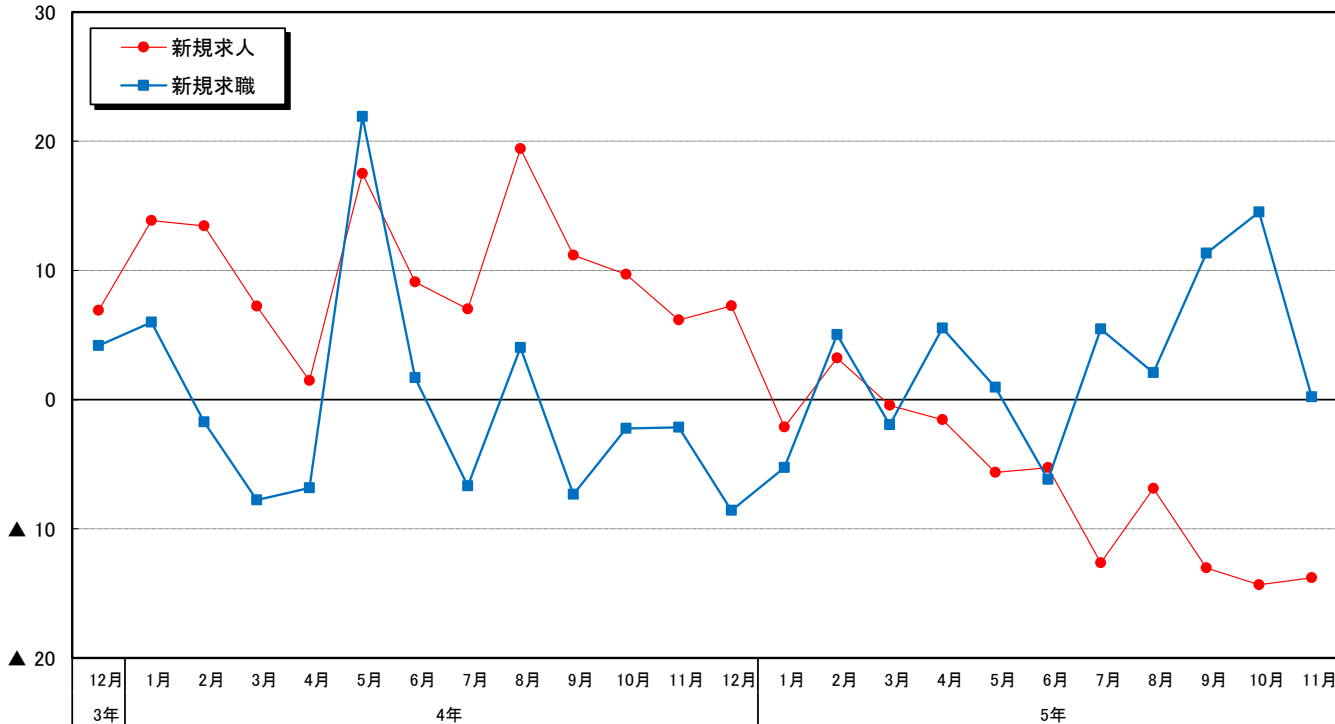


9-11月
中国
1.51
鳥取
1.32

(資料出所:厚生労働省、鳥取労働局)

(2) 新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比

(%)



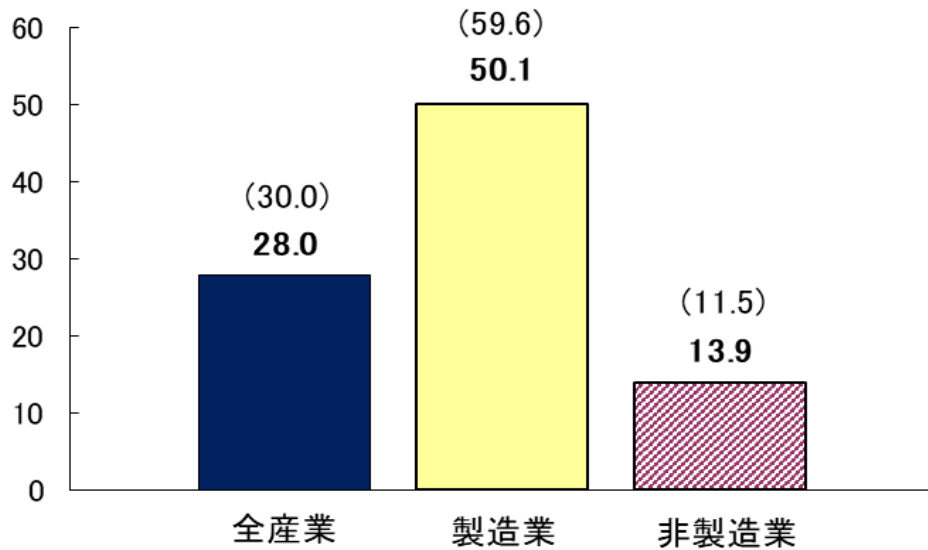
9-11月
前年比
求人
▲13.7%
求職
8.9%

(資料出所:鳥取労働局)

4. 設備投資 5年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

(%)



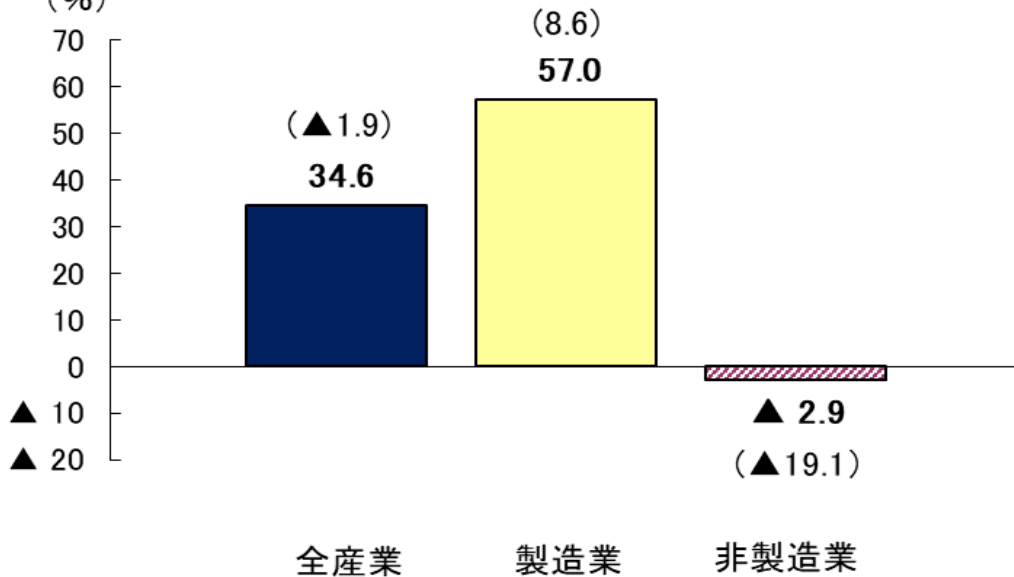
- (注) 1. 調査実施時点は令和5年11月15日
 2. ソフトウェア含む、土地除く
 3. ()書きは前回(令和5年7~9月期)調査結果

(資料出所:鳥取財務事務所)

5. 企業収益 5年度は増益見込み

経常利益(前年度比)

(%)

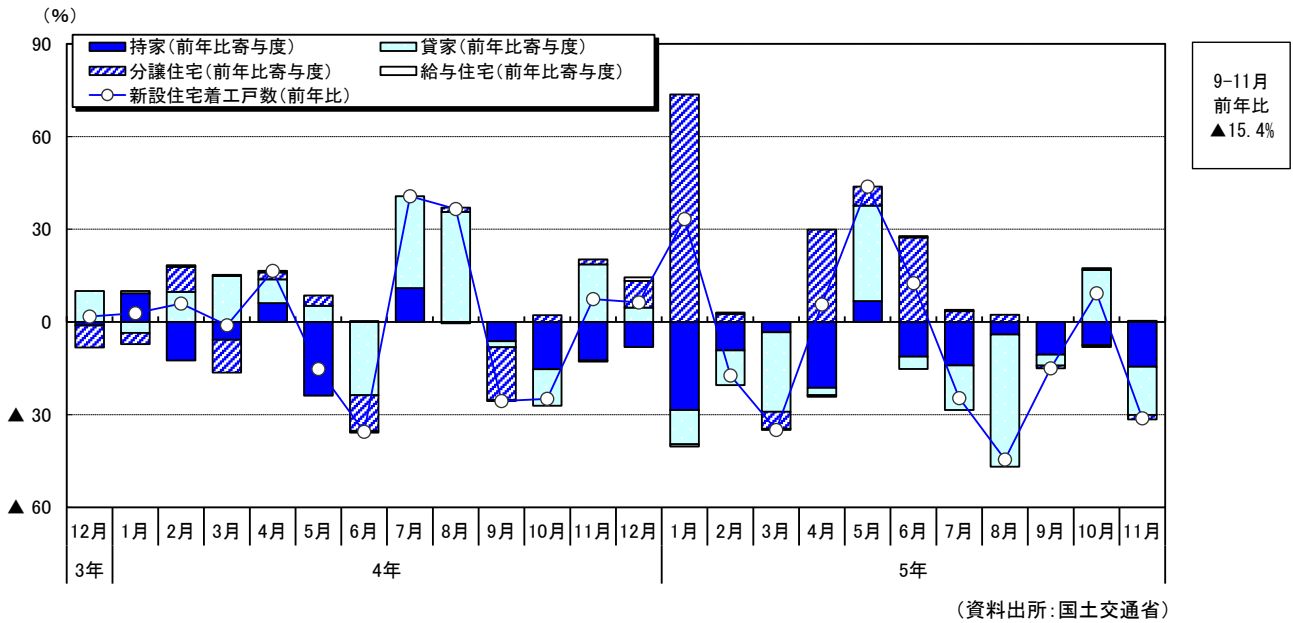


- (注) 1. 調査実施時点は令和5年11月15日
 2. 電気・ガス・水道業及び金融業・保険業を除く
 3. ()書きは前回(令和5年7~9月期)調査結果

(資料出所:鳥取財務事務所)

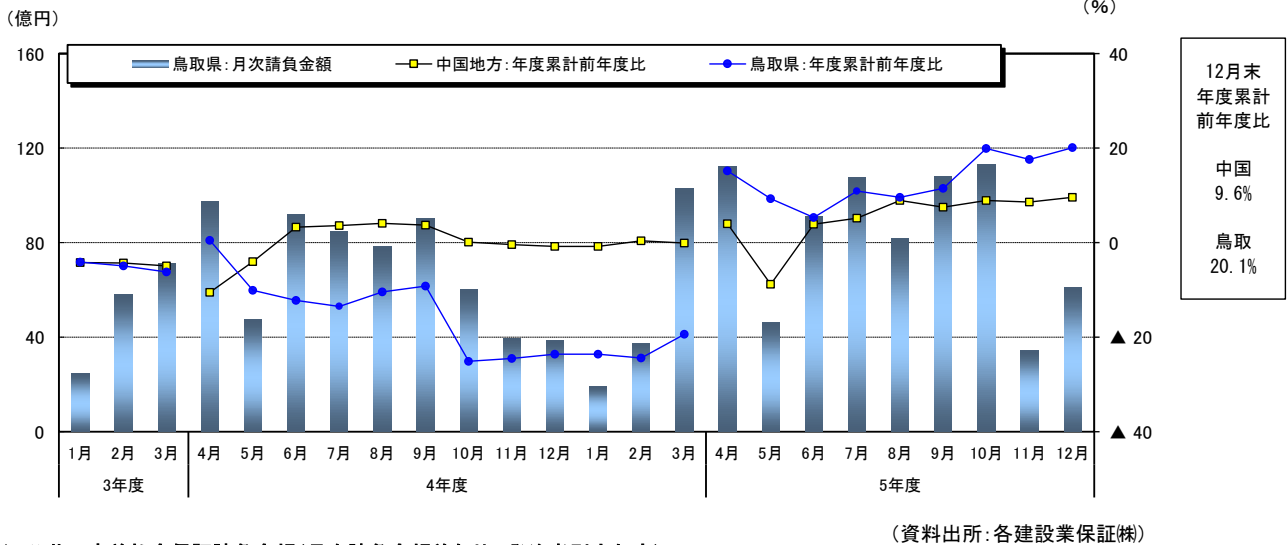
6. 住宅建設 前年を下回る

新設住宅着工戸数(前年比)



7. 公共事業 前年度を上回る

(1) 公共工事前払金保証請負金額(月次請負金額、年度累計前年度比)



(2) 公共工事前払金保証請負金額(月次請負金額前年比、発注者別寄与度)

